

会員の声

－西村 和人 さん（鹿児島県）－

＋＊＋＊プロフィール＊＋＊＋

1988年（昭和63年）に42歳で社会保険労務士事務所を鹿児島県指宿市に開業し、地域密着型で中小零細企業の人事労務管理の手続き業務中心に事業展開を行っています。その後、人事労務を中心としたコンサルティングを行う会社を設立し、社会保険労務士・経営士・キャリアディベロップメントアドバイザーとして、中小中堅企業の人事制度構築の支援や社員教育に携わるようになりました。

著書として、「農業法人の労務管理と就業規則の作り方」（平成15年刊）、「介護施設の人事労務管理と就業規則」（平成22年刊）があります（いずれも（株）日本法令より刊行）。

＋＊＋＊主な仕事＊＋＊＋

労働・社会保険の諸手続、労務相談業務を中心に、近年は賃金・人事制度の構築、社員教育、キャリア形成支援も行っています。

また、10年ほど前から、（独法）高齢・障害者雇用支援機構の高年齢者雇用アドバイザー、介護労働安定センターの雇用管理コンサルタントおよび農業経営指導スペシャリストとして県下の企業、団体を訪問して人事労務管理の課題解決のための相談・助言活動を行っています。

＋＊＋＊農業との関わり＊＋＊＋

私の住む鹿児島県南薩地方は、温暖で畑地かんがいによる水利用も容易なことから、農業が盛んな地域です。畜産、軟弱野菜、茶、花卉、観葉植物、亜熱帯果樹等々。

そのようなことから、従前よりいくつかの農業経営体を支援してきましたが、平成9年からは、鹿児島県農業経営指導スペシャリストとして、農業経営における人事労務管理の改善について県下の農業経営者を支援することになり、「農業の労務管理」や「就業規則の作り方」等の研修会の講師、あるいは事業所を直接訪問しての相談・助言活動を行っています。

＋＊＋＊今後の抱負や農業への期待＊＋＊＋

農業の法人経営が普及し、地方経済に大きなウェイトを占めつつありますが、その経営は、人材活用においてそのノウハウがかなり不足していることから、継続的成長発展の大きな足かせになっています。

農業の雇用管理の改善により、「働きやすく働きがいのある」職場づくりは、喫緊の課題と考えています。私も、農業経営の雇用管理改善への助言を通して、農業経営の更なる発展とそこに働く人々の成長を応援していきたいと思えます。

